

令和9年度入学者選抜の学力検査「英語」は、「大阪版 中学校で学ぶ英単語集（令和4年6月改訂）」の英単語集から出題されます。



公立高校入学者選抜での外部検定の活用について

学力検査「英語」において、外部機関が認証した英語力判定テスト（TOEFL iBT、IELTS 及び実用英語技能検定（英検）を対象とする。）のスコア等（以下「スコア等」という。）を活用する。活用にあたり、府教育委員会はスコア等に応じた読み替え率を定め、この読み替え率により換算した点数と英語の学力検査の点数を比較し、高い方の点数を当該受験者の英語の学力検査の成績とする。

英語資格（外部検定）を活用する志願者は、スコア等を証明するデータを、出願時にオンライン出願システムにて提出する。

なお、英語資格（外部検定）の活用については、「基礎的問題」「標準的問題」「発展的問題」のすべての検査問題を対象とする。

<読み替え率>

TOEFL iBT	IELTS	実用英語技能検定	読み替え率
60点～120点	6.0～9.0	準1級・1級	100%
50点～59点	5.5	（対応無し）	90%
40点～49点	5.0	2級	80%

「英検 S-CBT」について

「英検 S-CBT」による合格級も、英検の合格級として活用することができます。



英検の申し込みなどについては、日本英語検定協会のHP（右のQRコード）でご確認ください。

